

まず、これだけは知っておきたい暮らす京都市のこと

自然環境に育まれた立地



京都市は、東・北・西の三方を山に囲まれ、市内各地には社寺林や庭園、緑地が多く存在します。また、都心部を南北に悠々と流れる鴨川は、地域の方々の憩いの場、働く方々にとっての安らぎの場となっており、大都市でありながら豊かな自然環境に恵まれています。日常の中で、ふと心を落ちつけ、気持ちよく散策できる環境は、オンとオフを切り替えやすく、京都市の大きな魅力の一つです。

人と人つながるまち



「一見さんお断り」など敷居の高い印象を持たれがちな京都ですが、実際の京都は出会いのチャンネルが多いまち。茶道や伝統芸能といった趣味のサロン、カフェや喫茶店、ギャラリーなど、文化芸術が身近に息づく理想的な教育環境です。また、教員数も全国屈指で、生徒一人一人に寄り添いながら全国トップレベルの高い学力水準が実現されています。

教員一人当たりの児童数
東京都区部・政令指定都市21都市中

幼稚園 2位 小学校 3位
中学校 4位 高等学校 1位

(出典)大都市比較統計年表 令和2年版

京都市移住ポータルサイト
[住むなら京都](#)



Live naturally in KYOTO

未来に期待が高まるまち

南区



MINAMI AREA DATA

- 人口: 101,970人(市内の約7%人が住んでいます)
- 交通: JR京都線／近鉄京都線／地下鉄烏丸線
- 名所: 東寺、伏見稻荷大社御旅所、六孫王神社、吉祥院天満宮

京都市の南西部にある南区は、桂川と鴨川が流れおり、水辺を中心に多くの野鳥が見られ、潤いのある自然環境が広がります。平安時代以降、これらの川を使って全国から集まる大量の物資を担うなど、南区は交通の面で重要な場所となっていました。現在でも京都駅があり、名神高速道路のインターチェンジや京都高速道路に接し、国道1号、24号、171号などの幹線道路が多く通る「京都の玄関口」として、機能しています。南区は、人と人との結びつきが強く、区内の美化活動では、地域一丸となって毎回多くの方が参加されています。また、各学区における子どもたちの見守り活動など、地域ぐるみでの子育て支援の風土がしっかりと根付き、受け継がれています。

今後変化していくまち

2023年に都市計画見直しを行い、「京都駅南部」エリアや「らくなん進都(鴨川以北)」エリアの新しいまちづくりが進行しています。創造的・革新的な企業が集積し、若い世代を惹きつける新たな拠点となることが期待されます。



野菜の名産地のまち

南区エリアは河川が多い地域であることから、豊かな水資源を活用して近郊農業が発達してきました。京野菜として知られる九条ねぎや金時にんじんなど、様々な野菜の産地となっており、地産地消の取組やマルシェなども積極的に開催されています。

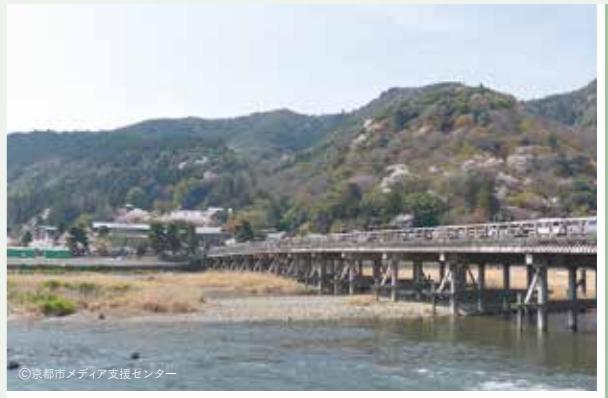


南区の住民が語る座談会の記事はこち



右京区

京都らしさを味わいながら暮らす



UKYOU AREA DATA

- 人口: 202,047人(市内の約14%人が住んでいます)
- 交通: 阪急京都線・嵐山線／JR嵯峨野線／京福嵐山本線・北野線
- 名所: 嵐山、広隆寺、妙心寺、龍安寺、仁和寺

京都市の西北部にある右京区。区の面積は291.95km²で、市の面積の35%にあたり、市の中で一番大きな区です。区の北部はほとんどが森林で、緑あふれる山々や清らかな水の流れなど、豊かな自然に恵まれています。

右京区は昭和6(1931)年に京都府葛野郡の1町9村が京都市に取り入れられて誕生しました。桂川が流れる嵯峨・嵐山のあたりは四季折々の自然が美しく、平安時代には貴族の別荘地となっていた京都を代表する景勝地です。さらに春は桜の御室、夏は新緑の嵐山、秋は紅葉の高雄、冬は雪の嵯峨など、全国的にも知られている名所が区内にはたくさんあります。

国宝が多いまち

太秦の広隆寺にある国宝第1号に認定された「弥勒菩薩像」のほか、区内には京都全体の1/4を超える58件の国宝があります。世界文化遺産に登録された仁和寺、高山寺、天龍寺、など数多くの文化財を有しているのも魅力の一つです。



大自然が身近なまち

大阪市とはほぼ同じくらいの大きさで、その広大な地の93%が森林という緑あふれる京北エリア。どこを訪れても豊かな自然と美しい清流に出会え、BBQスポットとしても人気。市街地からは車で約40分なので、気軽に訪れるのも魅力です。



右京区の住民が語る座談会の記事はこち



Live naturally in KYOTO



NISHIKYO AREA DATA

- 人口: 149,837人(市内の約10%の人が住んでいます)
- 交通: 阪急京都線・嵐山線/JR京都線
- 名所: 桂離宮、松尾大社、大原野神社、洛西竹林公園

京都市の西南部に位置し、京都の西の玄関口としての役割を担う西京区。その西南部に位置する洛西地域は、西山山麓には紫式部ゆかりの大原野神社、桂昌院ゆかりの善峯寺など、歴史ある寺社が数多く存在します。地域の中心部には洛西ニュータウンや桂坂の大規模で計画的な住宅街、また中央部を東西に走る旧山陰街道沿いにはかつて宿場町として栄えた大枝、さらに西部には西山連峰の美しい山並みと大原野の田園風景が広がります。

京都市中心部や大阪方面の鉄道駅へのアクセスも良く、ニュータウンの整った街並みと、少し足を延ばすだけで京都市内とは思えないのどかで自然豊かな田園風景が広がるのも洛西地域の魅力です。

生まれ変わる！

ニュータウンがあるまち

京都市初の大規模住宅団地である洛西ニュータウン。子育て世帯にも安心な整備された街並みとマルシェなど豊富な催しが魅力。緑豊かな住環境を活かし、より便利で魅力的なまちに向けた「洛西“SAIKO”プロジェクト」も進んでいます。

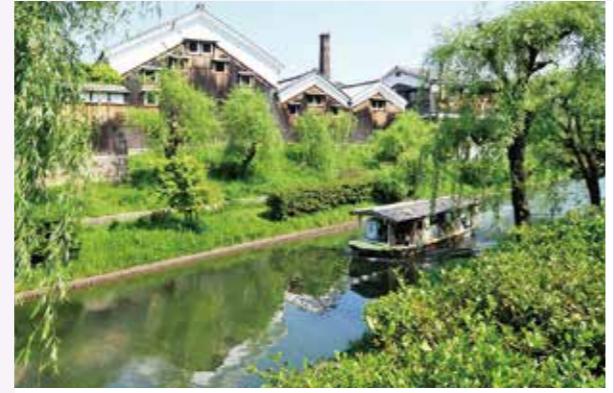


のびのびと子育てるまち

子どもたちの好奇心を刺激してくれる豊かな自然と特色ある公園にあふれた洛西地域。自然環境に恵まれているだけでなく、子育てをサポートしてくれる児童館やつどいの広場、コミュニティも充実しているので、孤立せず安心して子育てができます。



西京区の住民が語る座談会の記事はこちら



FUSHIMI AREA DATA

- 人口: 277,858人(市内の約19%の人が住んでいます)
- 交通: JR奈良線／近鉄京都線／京阪本線・宇治線
市営地下鉄烏丸線・東西線
- 名所: 酒蔵、伏見城跡、伏見港、城南宮、伏見稻荷大社、醍醐寺

京都市南部に位置し、11区内でも最大の人口を擁する伏見区。宇治川や桂川などの水源に恵まれ、古くは貴族の別荘地などとして知られる場所でしたが、晩年の豊臣秀吉が伏見城を築城したことで城下町として発展します。

江戸時代も幕府の政治や水運の拠点として栄え、昭和に入り京都市に編入されるまで、独自の文化を育んできました。そんな歴史から生まれたアイデンティティは今もまちの至るところに健在。城下町の基軸であった大手筋は商店街として賑わい、豊かな「伏水」を生かした酒造業は全国に知られます。交通の要所でもあったため、京都都心部や大阪方面へのアクセスがいいのも大きな魅力です。

公園の数が多いまち

区内には281箇所の公園があり(2023年3月31日時点)、人口あたりの公園数は市内で第1位! 徒歩圏内にあり日常的に使える公園から、グラウンドや体育館を備えた大規模な運動公園や広場まで多彩に揃い、子どもから大人まで憩いの時間を楽しむことができます。



商店街がにぎわうまち

100年の歴史を持つ伏見大手筋商店街や納屋町商店街をはじめ、幕末の史跡にも近い竜馬通り商店街など多くの商店街がある伏見区。幅広いジャンルの店舗、飲食店が揃うだけでなく、各商店街で多彩なイベントも開催され、暮らしに深く根付いています。



伏見区の住民が語る座談会の記事はこちら



都会のオアシスでのびのび

梅小路公園

京都駅から徒歩約15分という市街地の中心にあり、緑と花で憩える場所として人気の都市公園。芝生広場や水遊びができる河原遊び場、実際に乗ることができますチキン電車など、子どもから大人まで楽しめるスポットです。

✿ 京都市下京区観喜寺町56-3

✿ JR嵯峨野線「梅小路京都西」駅下車すぐ
✿ 「京都」駅から徒歩約15分



乳幼児の子育てをサポート

こどもみらい館

大型遊具や木のおもちゃなどで遊べ、保育士に相談もできる「こども元気ランド」、お子さん向けの絵本をそろえた「子育て図書館」が人気です。親子同士が交流できる子育て支援事業も充実しています。

✿ 京都市中京区楠町601-1 竹間公園南

✿ 京都市営地下鉄烏丸線
「丸太町」駅から徒歩約5分



いきものや自然とのつながりを感じる

京都水族館

梅小路公園内にある京都水族館は、10のエリアに分かれています。約250種、約1万5000点のいきものが展示されています。さらに、いきものと飼育スタッフがコミュニケーションをとる「いきものプログラム」も楽しめます。

✿ 京都市下京区観喜寺町35-1(梅小路公園内)

✿ JR嵯峨野線「梅小路京都西」駅から徒歩約7分
✿ 「京都」駅から徒歩約15分

京都市での子育ての魅力が満載！』
[はぐくーもKYOTO]



お問い合わせ

京都市 総合企画局総合政策室人口戦略担当
京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488
TEL: 075-222-3037